

2021年3月期 第2四半期 決算説明



2020年10月30日 クボテック株式会社

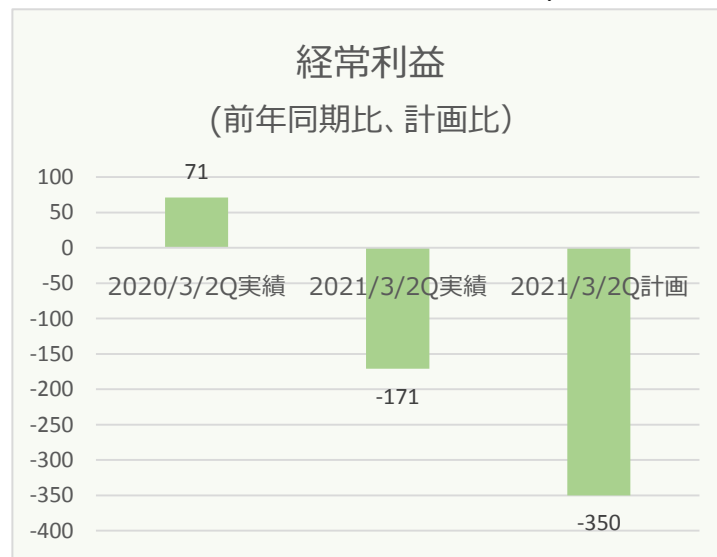
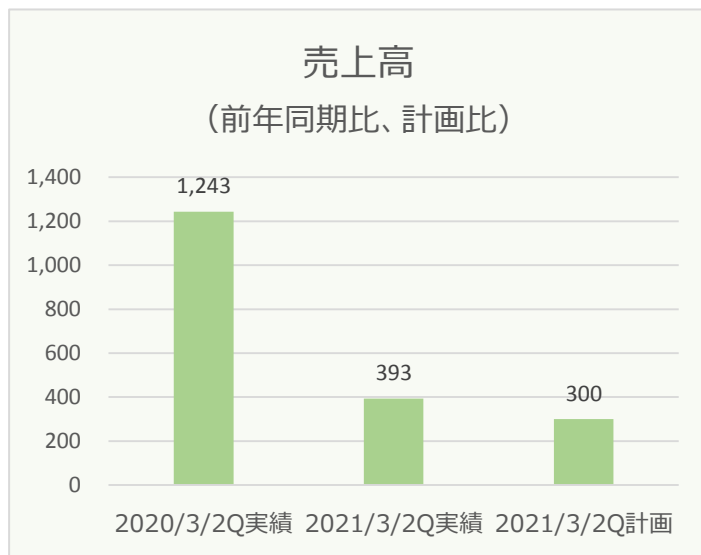
目次

1. 決算概要（まとめ）
2. 2021年3月期第2四半期連結業績概況
3. 2021年3月期通期連結業績見通し

1. 決算概要（まとめ）

- ◆ 当第2四半期は、新型コロナ感染拡大の影響などを受け、前年同期に比べ大幅な減収減益、経常損益は赤字
- ◆ 採算を重視した販売戦略、固定費削減など事業構造改革の効果が徐々に発現
計画比では増収、損益面では赤字幅が減少

（単位：百万円）



2. 2021年3月期第2四半期連結業績概況 経営成績

- ◆ 新型コロナウイルス感染症拡大による客先設備投資への影響、営業活動の制限から、前年同期比で約70%の大幅な減収
- ◆ 損益は、大幅な減収に伴い赤字
採算を重視した営業活動、製品構成の変化に伴う内製割合の上昇、
固定費削減の効果を反映し、損益分岐点は低下、赤字幅は縮小

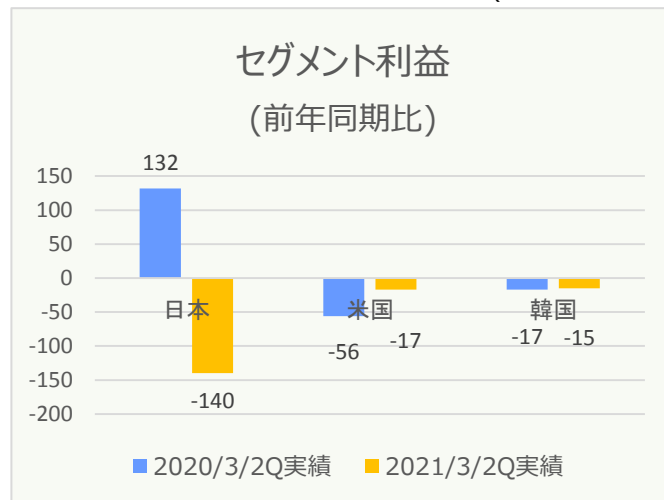
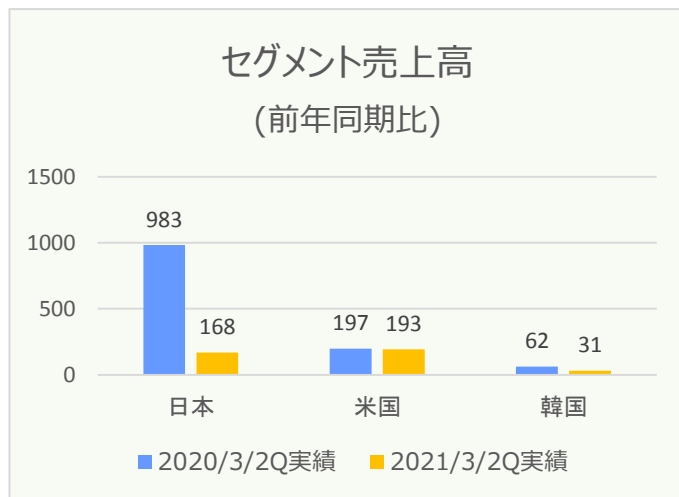
(単位：百万円)

	2020/3 2Q実績	2021/3 2Q実績	2021/3 2Q予想
売上高	1,243	393	300
営業利益(△損失)	77 (6.2%)	△ 166 (△42.3%)	△ 345
経常利益 (△損失)	71 (5.8%)	△ 171 (△43.5%)	△ 350
当期純利益(△損失)	69 (5.6%)	△ 171 (△43.6%)	△ 355

2. 2021年3月期第2四半期連結業績概況 セグメント別売上高、利益

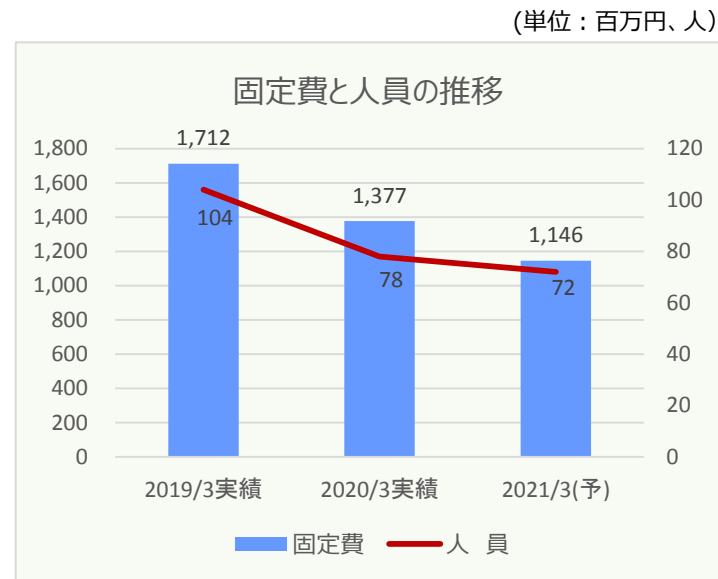
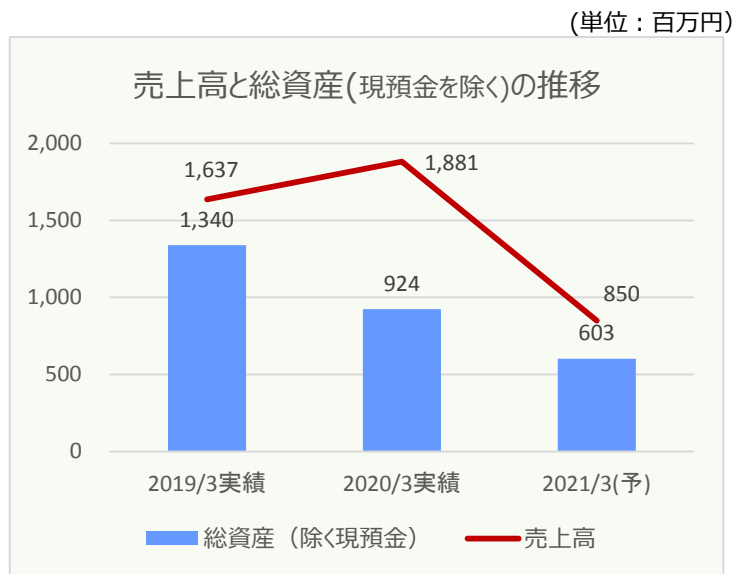
- ◆ 日本では、設備投資抑制の影響で受注低調、画像処理外観検査装置は90%を超える減収
- ◆ 米国では、既存製品の製品保守による一定の収益計上で、売上は確保
3次元比較検証ソフトウェアなど新製品は今後寄与
- ◆ 韓国では、韓国大手FPDメーカー向けの画像処理外観検査装置関連が納期延期などの影響で減収

(単位：百万円)



2. 2021年3月期第2四半期連結業績概況 総資産、固定費等の推移-1

- ◆ 2019年3月期から事業構造改善対策を実施、
①新規事業・新製品の開発と販売、②資産圧縮、③固定費削減



2. 2021年3月期第2四半期連結業績概況 事業構造改善対策

新規事業・新製品の 開発と販売

次世代パネル、機能性フィルム
向け検査装置の開発・販売

Kosmos Products の
開発・販売

Haniwa の開発・販売

HEVC 採用モデル、
4K対応製品の開発販売

フライホイール
大出力発電装置の開発

資産の圧縮

工場土地・建物の売却

長期滞留債権の回収

在庫の廃棄、評価減の実施

投資有価証券の売却

海外子会社の清算

固定費の削減

工場の閉鎖、統合

人員配置の適正化

経費削減

役員・管理職の
報酬給与カット

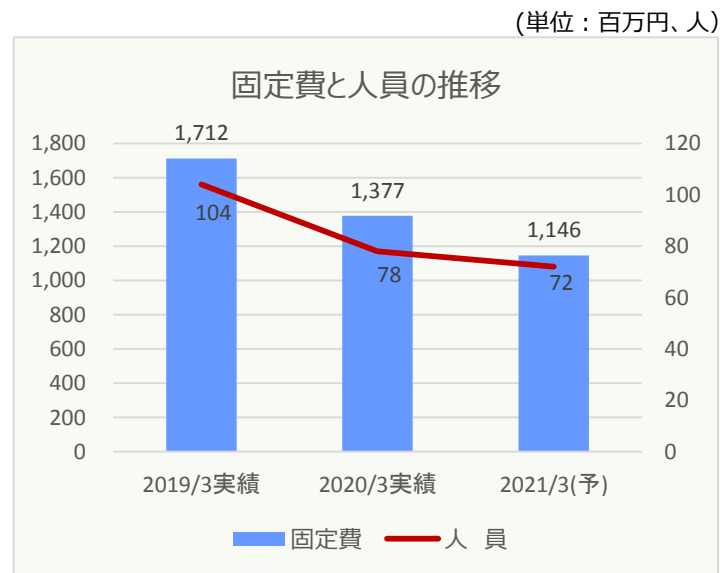
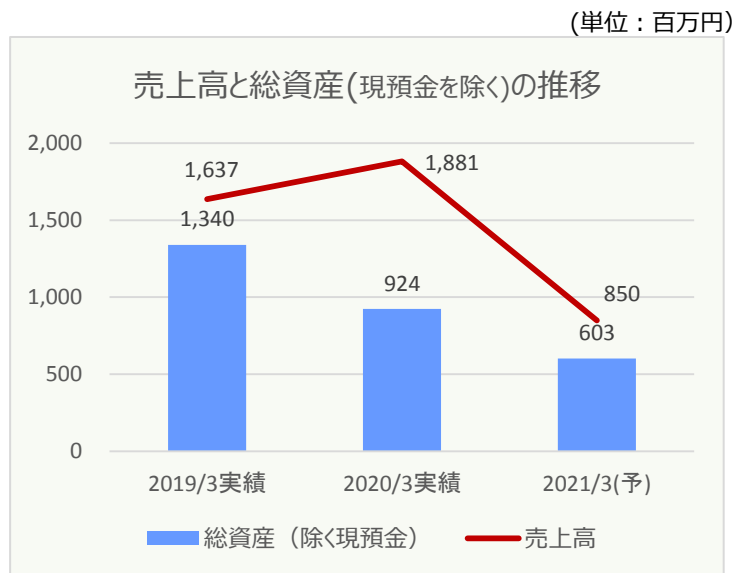
全従業員の賞与削減

自然減、退職者不補充

希望退職の実施

2. 2021年3月期第2四半期連結業績概況 総資産、固定費等の推移-2

- ◆ 収益拡大は、新型コロナウイルス感染症や国内外の設備投資抑制などの影響から、現状は未達
- ◆ 資産の圧縮は、工場土地・建物の売却などで現預金を除く資産は、3年間で50%以上圧縮
- ◆ 固定費の削減は、工場の閉鎖・統合、人員配置の適正化などで、3年間で30%以上の削減



2. 2021年3月期第2四半期連結業績概況 貸借対照表

	2020/3 期末 (2020年3月末)		2021/3 2Q末(2020年9月末)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
流動資産				
現預金	1,875	67.0	1,867	75.6
売上債権	559	20.0	259	10.5
在庫	158	5.7	138	5.6
その他	△ 6	△ 0.3	△ 2	△ 0.1
固定資産	213	7.6	207	8.4
資産計	2,799	100.0	2,470	100.0
流動負債	1,001	35.8	1,248	50.5
固定負債	576	20.6	173	7.0
負債計	1,578	56.4	1,421	57.5
資本金	1,951	69.7	1,951	79.0
利益剰余金	△ 677	△ 24.2	△ 849	△ 34.4
その他	△ 52	△ 1.9	△ 53	△ 2.1
純資産計	1,221	43.6	1,048	42.5
負債及び純資産合計	2,799	100.0	2,470	100.0

◆ 総資産は、前期末に比べ主に売上債権が減少

◆ 負債は、前期末に比べ借入金の返済などで減少

◆ 純資産は、前期末に比べ純損失の計上などで減少

2. 2021年3月期第2四半期連結業績概況 キャッシュ・フロー計算書

- ◆ 営業キャッシュは、売上債権の回収と減価償却費の計上などで、2億2千万円の収入
- ◆ 投資キャッシュは、ソフトウェアの取得などで9千万円の支出
- ◆ 財務キャッシュは、銀行への返済の結果、1億3千万円の支出

(単位：百万円)

	2020/3	2021/3
	2Q実績	2Q実績
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	333	220
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 88	△ 90
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 221	△ 131
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 11	△ 6
V. 現金及び現金同等物の増加額	11	△ 7
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	2,228	1,843
VII. 現金及び現金同等物の期末残高	2,240	1,836

3. 2021年3月期通期連結業績見通し

- ◆ 期初予想から減収、損益は減収の影響はあるが改善効果から、赤字幅は縮小
新型コロナウイルス感染症の影響が長期化の恐れ、客先設備投資は低調
- ◆ 依然経済活動の制約が続くなか、新事業の早期収益化、新製品の開発、販売、
既存事業の用途開拓など収益拡大を図り、改革を継続し事業を再構築する方針

(単位：百万円)

	2020/3通期 実績	2021/3通期 修正予想
売上高	1,881	850
営業利益(△損失)	△ 28 (△1.5%)	△ 240 (△28.2%)
経常利益 (△損失)	△ 38 (△2.1%)	△ 250 (△29.4%)
当期純利益(△損失)	△ 101 (△5.4%)	△ 230 (△27.1%)

2021/3通期 期初予想
1,100
△ 290 (△26.4%)
△ 300 (△27.3%)
△ 310 (△28.2%)